

2015 年度 関西学院大学自己点検・評価  
 < C 票 > 第三者評価結果 【理工学部】

教育研究目標 1

1. 6 年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と 6 年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と 6 年後のめざす姿（目標）との関係性 （※ 6 年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 3 名	左記を選択した理由： ・ ハンズオンラーニングプログラムへの参加学生数の増加という目標は具体的で適切である。（評価者 A） ・ 学生のキャンパス外での活動や実社会での学習による社会貢献を迫及する点。（評価者 B） ・ 目標と学生の将来像の整合性が高い。（評価者 C）
「具体的でない」 0 名	左記を選択した理由：
その他気づいた点	
6 年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された 6 年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	< 評価者からのコメント > ・ 理工学部の特長を伸長させる意欲的で適切なとりくみであり、評価指標も適切であると考えられる。（評価者 A） ・ 目標設定を現状の背景や課題から解き明かして目標を設定することは適切です。（評価者 B） ・ 客観的に見て妥当である。（評価者 C）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	< 評価者からのコメント > ・ ハンズオンラーニングプログラムへの参加学生数という評価指標は適切である。（評価者 A） ・ 妥当です。（評価者 B） ・ 4 つの尺度で数値化されておりわかりやすい。（評価者 C）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	< 評価者からのコメント > ・ 適切なスケジュール設定と考えられる。（評価者 A） ・ 妥当です。（評価者 B） ・ スケジュール設定は適切である。（評価者 C）

## 教育研究目標 2

### 1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 （※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 3名	<u>左記を選択した理由：</u> ・ 卒業時アンケートにおける学習満足度の向上という目標は具体的で適切である。（評価者A） ・ 応用力養成という目標と6年後の姿との関係が背景、課題、現状分析を通して記述されている点。（評価者B） ・ 関係性は具体的にイメージ出来る。（評価者C）
「具体的でない」 0名	<u>左記を選択した理由：</u>
その他気づいた点：	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
<b>目標の内容</b> （設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	<u>&lt;評価者からのコメント&gt;</u> ・ 理工学部の特長を伸長させる意欲的で適切なとりくみであり、評価指標も適切であると考えられる。（評価者A） ・ 現状を踏まえた上での目標設定（ハンズオンラーニング科目の満足度アップ）は適切です。（評価者B） ・ 意欲的な取組であり評価出来る。（評価者C）
<b>評価指標</b> （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	<u>&lt;評価者からのコメント&gt;</u> ・ 卒業時アンケートにおける学習満足度の向上という評価指標は適切である。（評価者A） ・ 妥当です。とりわけ、卒業時点での満足度測定は適切と思われます。（評価者B） ・ 4つの尺度はわかりやすく妥当である。（評価者C）
<b>目標達成スケジュール</b> （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	<u>&lt;評価者からのコメント&gt;</u> ・ 適切なスケジュール設定と考えられる。（評価者A） ・ 適切です。（評価者B） ・ スケジュール設定も適切である。（評価者C）

## 教育研究目標 3

### 1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 (※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか)	
「具体的である」 3名	<p>左記を選択した理由：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修参加学生へのアンケートにおける成果・満足度の向上という目標は具体的に適切である。(評価者A)</li> <li>・ 1. E P S教育と2. の目標設定の記述は具体的です。(評価者B)</li> <li>・ 具体的に関係性がイメージ出来る。(評価者C)</li> </ul>
「具体的でない」 0名	<p>左記を選択した理由：</p>
その他気づいた点：	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
<p>目標の内容</p> <p>(設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部署の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。)</p>	<p>&lt;評価者からのコメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理工学部の特長を伸長させる意欲的で適切なりくみであり、評価指標も適切であると考えられる。(評価者A)</li> <li>・ 各種の評価基準に照らし合わせ、妥当と判断しました。(評価者B)</li> <li>・ 意欲的な取組みであり評価出来る。(評価者C)</li> </ul>
<p>評価指標</p> <p>(目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。)</p>	<p>&lt;評価者からのコメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修参加学生へのアンケートにおける成果・満足度の向上という評価指標は適切である。(評価者A)</li> <li>・ 妥当です。(評価者B)</li> <li>・ 4つの評価尺度はわかりやすく明確である。(評価者C)</li> </ul>
<p>目標達成スケジュール</p> <p>(目標達成に向けたスケジュール設定は適切か(長すぎないか、短すぎないか))</p>	<p>&lt;評価者からのコメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適切なスケジュール設定と考えられる。(評価者A)</li> <li>・ 適切です。(評価者B)</li> <li>・ 適切である。(評価者C)</li> </ul>